

# 2023 年次報告書

ANNUAL REPORT  
2023-2024



## 代表あいさつ

昨年に続き、『年次報告書2023』を発行させていただくことができました。2023年度においても、福祉サービス事業所BOCCHI、多世代交流スペースくるくるを利用される多世代多様な方々と共に、さまざまな活動をご一緒にしました。

障害福祉サービス事業所BOCCHIでは、お菓子づくりやKAMIKURUの作業をはじめ、オリヒメでのギラヴァンツ北九州のホームゲーム受付業務を担当する新しいチャレンジなどBe Happyプロジェクトの中で重要な役割をしっかりと担いました。

多世代交流スペースくるくるは、活用をされる方々が増えはじめ、出会いや交流の場として認知度があがってきているように感じています。

『年次報告書2023』では、この1年間のわくわーくの活動状況をさまざまな角度からお伝えできるように、関わっていただいた多くの方々から寄せられた声を掲載しています。

「互いを認め合い、こころ穏やかに安心して暮らせる社会」をあるべき姿と掲げているわくわーく。じっくりと本書をご覧ください、ヒト、モノ、コトのつながりを広げていく活動を共に考え、すすめる仲間になってください。多くの方々と活動し、うれしい、たのしいをたくさん創っていきましょう。

感謝をこめて。



理事長 小橋 祐子

## Contents

わくわーくとは／2023年度ハイライト	P1
特集：「出会い、つながり、生まれる」Be Happy プロジェクト～2023年度の新たな取り組み～	P2-5
2023年度事業報告	P6-9
数字で見るわくわーく2023／2023年度決算	P10
2024年度の取り組み	P11
わくわーくを応援するには	P12
協働先のご紹介	P13-17

## わくわーくとは

わくわーくは、精神障がいを持つ方のさまざまな場面に長年携わった有志が集まり設立に至りました。現代は自然環境の変化や社会状況の変化がとてつもないスピードでおこっており、仕事や人間関係、生活環境などによりストレスを抱え、からだやこころに不調をきたしてしまう人も少なくありません。このことは、ご本人や身近な人だけの問題ではないと考えています。わくわーくは、地域のさまざまな方が気軽に集える「場」を提供し、その「場」に集う「ヒト」たちがつながりながら、自分たちのまちでこころ豊かに暮らすために役立つ「コト」や「モノ」などの社会資源を共に創るための活動をしています。



▲イメージキャラクター  
ボッチ&わーく



▲外観

### 【団体概要】

- ・団体名：NPO 法人わくわーく
- ・設 立：2010 年 5 月
- ・活動地域：福岡県北九州市
- ・理事長：小橋祐子
- ・役員数：7 名
- ・職員数：5 名

## 2023年度のハイライト

### ①ふくおか共助社会づくり表彰を受賞

Be Happy プロジェクトの取り組みのひとつである「KAMIKURUプロジェクト」が令和5年度ふくおか共助社会づくり表彰を受賞。2024年2月7日、福岡県庁で行われた表彰式にエプソン販売株式会社の担当者と共に出席。

### ②シルクルプロジェクトがスタート

「捨てられる着物がもったいない！」から始まった新しいプロジェクト。エコバック、ティッシュケース等のアップサイクル品の製作やコースターづくりワークショップも開催。(詳細は4～5ページを参照)

### ③くるくるスペースの活用が拡大

子育て世代のグループによる毎週定例のマルシェ、豊かなこころを育むことをテーマとした映写会や音楽演奏会の実施など、市民のみなさんが持ち寄ったさまざまな企画が開催された。





# 「出会い、つながり、生まれる」 Be Happy プロジェクト ～2023年度の新たな取り組み～

2022年度よりスタートした「Be Happy プロジェクト」。昨年度の『年次報告書』でも特集として本プロジェクトをご紹介しましたが、新たなプロジェクトが続々と生まれており、今回は新プロジェクトをご紹介します。

## Be Happy プロジェクトとは

本プロジェクトでは、たくさんのプロジェクトを通して障がいのある方の仕事や役割が増え、やりがいや生きがいを見つけられるようになることをめざしています。多様な人との協働が増え、障がいのある方が地域で活躍できるようになるとともに、収入アップにもつなげていきたいと考えています。協働する地域の多くの方々にとっても同様の効果が生まれます。

## 新プロジェクトが生まれている背景

多世代交流スペース くるくるの場所に集まったときに、ちょっとした話の中から形になっています。例えば、P.4-5でご紹介する「シルクルプロジェクト」に関しては、理事の下村さんがくるくるで着物をほどこ仕事を持ってきてくれたところから始まりました。縫い物が得意なボランティアの方やちょっとしたお手伝いならできるよという方が集まり「じゃあ、やってみようか」となって始まっていきました。

他のプロジェクトも同様に「こういうことをやりましょう」と立ち上げたものではなくて、さまざまな方が集まる場所(くるくる)があって、対話の中からプロジェクトが生まれています。

## みんながプレーヤーになれるプロジェクト

Bamboo boonプロジェクトでは、ラジオにゲストで来てくださったフルート奏者の方が、プライベートでくるくるに来てくれて竹チェロの演奏にフルートの音色を添えてくださったことがありました。すごくぜいたくな時間となりました。

フルートは誰でも吹ける楽器ではないですが、自分も参加したいと自らリコーダーやハーモニカを持って来て演奏する方や、フロアに設置しているピアノをさらっと弾く方もいます。BOCCHIの利用者さんが恥ずかしいからとみんなが帰った後に、紙コップで自作したマラカスを見せてくれたこともありました。関わる人みんながプレーヤーになれる取り組みだと感じています。

## 事例紹介 01

# みんなごはん☆

## プロジェクトの概要



みんなごはん☆は子どもからお年寄りまでだれでも参加できるコミュニティ食堂です。北九州子ども食堂ネットワークにも加盟しており、中核の子ども食堂として、食材などを分配する拠点の役割も担っています。ご近所の方が調理のボランティアにいらしたりしながら、交流も生まれています。パントリーとして、お米やお菓子などを配布する日もあります。

学びの場であるてらこやと重なる日は、ボランティアの大学生が子どもたちにつかまって一緒に遊んでいたりと、絵本の読み聞かせが行われていたり、「持ち寄り」が自然と発生していて、地域のコミュニティの場になっていると感じます。



▲食事の様子

## 開催概要

日時：第2・4土曜日 11:30～14:30 / 第3土曜日 17:00～20:00

場所：ココクル平野 くるくるカフェスペース

料金：こども 100円～ おとな 300円～ ※寄付制

開始直後は竹チェロ教室の後にごはんを食べる場としてスタートし、大人の参加者が多い場でした。てらこやを実施する中で、てらこやに来ている子どもたちが「お腹空いた～」といつも言っていたのが気になっていましたが、スタッフの負担も大きいため夜の開催を増やすことは難しいなと思っていました。

ある日、水曜日のマルシェに来ているお母さんたちから「子ども食堂をやって

みたいけれど、場所をどうしたらよいか迷っている」という相談がきました。みんなごはんチームとして協力してもらえると助かるとお伝えして、夕食みんなごはんチームの担当になってもらいました。今では参加者が80人ぐらい集まる場になっています。

若いお母さんたちが動画を編集してネットにあげてくれることで、若い世代にも輪が広がっていているのを感じます。

## 協働先の声

Cafe:chamomille 平島 奈緒さん

毎週水曜日に「結musubiマルシェ」を、第3土曜日にママチームでのこども食堂「みんなごはん☆」をスタートしました。子育て世代がくるくるの交流スペースで年代、性別、人種の隔てなく関わるきっかけ、新たな結びの場となればと考えています。今後もあたたかい「化学変化」を期待しています！



事例紹介

02

# シルクルプロジェクト

## プロジェクトの概要



株式会社ファーイーストとNPO法人わくわーくでパートナーを組み、着物をアップサイクルした商品の製造とわくわーくの活動を応援する取り組みです。

捨てられる着物をエコバッグや名刺入れ等にアップサイクルする活動を通して、経済を回し、雇用を生み出し、ゴミ削減、地域活性、生きがいづくり、物を大切にする気持ちを育てたい。そんな目的で本プロジェクトは立ち上がりました。

ファーイーストでは使用されなくなった着物生地を着物シャツを製造販売しており、シャツに使えない着物を無料提供していただいています。わくわーくでは障がいのある方が着物のほどこ・洗濯・アイロンかけ等を行っています。売上は、就労支援として作業に携わった障がいをお持ちの方々の工賃となります。現在、5つの法人様に販売協力店になっていただいておりますが、連携先を増やし、売上を伸ばすことで、障がいのある方の工賃アップにつなげていきたいです。

また、売上の一部がわくわーくに寄付される仕組みにもなっており、購入することが団体の応援につながる「寄付つき商品」としても販売しています。



・エコバッグ(絹100%)  
1個:500円



・名刺入れ&カード入れ(絹100%)  
1個:2,000円

### <販売店舗>

- ・若松区:めぐみの杜
- ・八幡西区:株式会社ネオビス
- ・八幡西区:株式会社ファーイースト
- ・八幡西区:たまちゃん食堂
- ・八幡東区:無添加ハウス
- ・八幡東区:NPO法人わくわーく

シルクルで取り扱っている着物はとても色がきれいで、見ていただけでニヤニヤしてしまいます。やっている人たちのモチベーションもあがっているのを感じます。

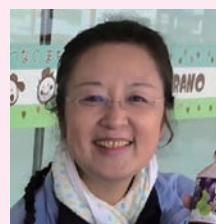
最近はワークショップの声もかかるようになりました。バッグをつくったときの生地のはぎれでコースターをつくるワークショップを地域に開放されている銀行のスペースを使って実施したところ、とても好評でした。

ワークショップで扱う生地のパーツをBOCCHIで準備するなど、利用者さんが関わるが増えれば工賃アップにもつながります。

## プロジェクトリーダーの声

下村さん

「捨てられる着物がもったいない！素材は貴重な着物だし、絹よ、絹！」と、もったいないの精神からスタートした着物アップサイクル活動。いろいろな方々のご縁をいただき、思ってもいなかったさまざまな品に生まれ変わり、使った多くの方々の笑顔が見れて嬉しい限りです。今後、高齢化社会が進む中、お母さん、おばあちゃんの思いが入った日本の伝統のある着物を廃棄せず、次の世代につなげたいと思います。



## ボランティアスタッフHさんのご紹介

小橋レポート

ご近所にお住まいのHさんはシルクルプロジェクトにすぐに賛同くださり、月に1回定例で設定したボランティア日以外にも、自宅でミシンかけをしたり「こんな風にしてみたのよ、よくない？」とアイディアを持ち込んでくださいます。プロジェクトリーダーの下村さんとペアとなり、地域で開催するワークショップでも大いに力を発揮してくださっています。



事例紹介

03

# KAMIKURUプロジェクト

## プロジェクトの追跡

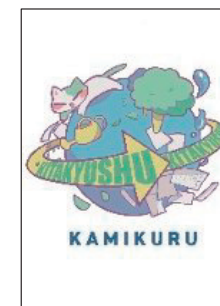
昨年特集としてご紹介したKAMIKURUプロジェクト。日々進化しています。

「KAMIKURUプロジェクト」は地域で生まれる古紙の活用について、みんなでアイデアを共創し、アップサイクルして地域に還元するという「紙資源を地域で循環させる」取り組みです。プロジェクトで作成した「カミクル学習ノート」がセイコーエプソン株式会社から北九州市教育委員会に贈呈され、市内の小学4年生の環境学習の際に配られています。

また、紙回収やアップサイクル品生産状況等、業務管理のシステム化に着手し、KAMIKURUプロジェクトがより充実するよう進んでいます。



▲KAMIKURUプロジェクトのロゴデザイン



▲寄贈されるノートの表紙・裏表紙は北九州市立高校の生徒会・美術部・写真部がデザインしました

## 今後に向けて

Be Happy プロジェクトは「出会い、つながり、生まれる」というサイクルができつつあり、「やってみたい！」「やれるんじゃない？」という声からプロジェクトがどんどん生まれてきていて、可能性は無限大だと感じています。

一方で、誰が管理してマネジメントしていくのが課題となっています。マネジメントする人を確保しないと回っていきませんが、そのためには財源の確保(寄付募集)や広報にもっと力を入れていく必要があります。

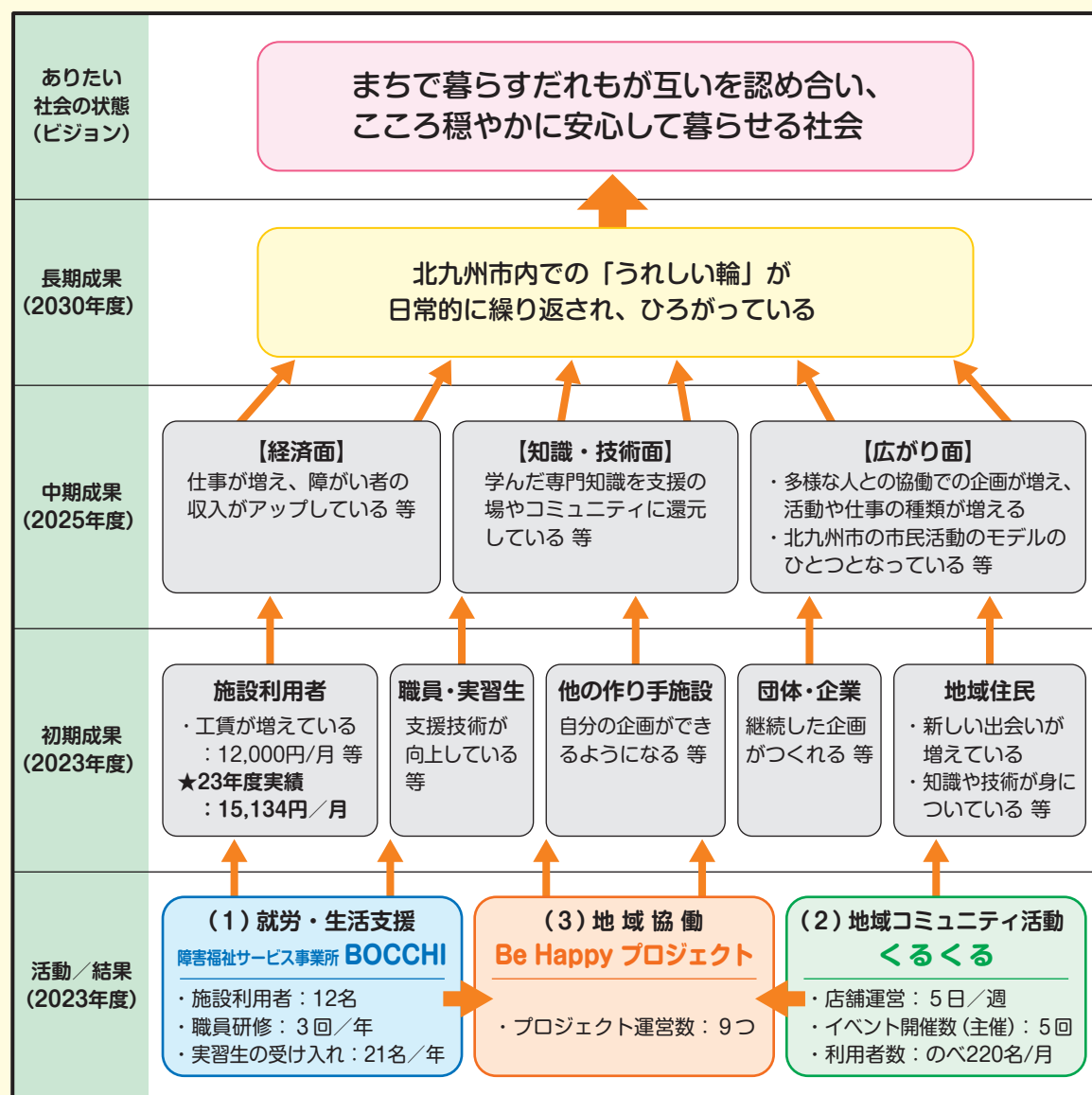
「何か手伝いたい」と言って来てくださる方もいますが、仕組み化できていないのが現状です。基盤を整えて、プロジェクトをもっと広げていきたいです。



# 2023年度事業報告

わくわーくは、事業が成果を上げるために必要な要素を体系的に図示化した「ロジックモデル」を2023年度につくりました。ビジョン(ありたい社会像)である「互いが認め合い、こころ穏やかに安心して暮らせる社会」を実現するために、まずは2030年までに北九州市内で「うれしい輪」(であう→きづく→わかる→うごく)が日常的に繰り返され、広がっていることをめざして、大きく3つの柱を立てて事業に取り組んでいます。

## NPO法人わくわーくの『2023年度ロジックモデル(簡易版)』



## 事業

# 1

## 就労・生活支援

## 障がい福祉サービス事業所 **BOCCHI**



### 事業概要

障がい福祉サービス事業所BOCCHIでは、障がいを持つ方の就労訓練や生活訓練を実施しています。BOCCHI利用者はお菓子や小物づくり、販売会や店舗での準備や接客、企業から依頼された作業などに取り組みました。仕事を通して一人ひとりがその人に合った力をつけ、経験を積んでいけるようにしました。



▲袋詰めの様子



▲手作り商品の井筒屋での販売



▲ペットボトルキャップの仕分け

### 2023年度のトピックス

- ▶小倉井筒屋、九州電力北九州支店、中央町100円商店街など地域での販売会に参加
- ▶高校生が考案した恐竜クッキーをわくわーくが製造協力
- ▶サッカーJ3のギラヴァンツ北九州のホームゲームで、受付とお見送りをBOCCHIのメンバーがオリヒメのパイロットとなって担当
- ▶八幡中央区商店街で実施しているSDGsチャレンジ商店街の取り組みに参加
- ▶障害福祉サービス事業所合同説明会に参加

### 事業担当者の声

NPO法人わくわーく 理事・BOCCHI就労支援員 山口 敦子

福祉・看護専門職を目指す学生の実習先施設として多くの若者がBOCCHIを学びの場として利用しています。BOCCHIの利用者が彼らに自分自身を伝えてくれる姿をみて、若者の人材育成を担う大切な存在であると感じています。



## 地域コミュニティ

## 多世代交流スペース くるくる



## 事業概要

わくわくの拠点となる場所は「ココクル平野」と名付けています。ココクル平野の中には、【障がい福祉サービス事業所BOCCHI】のエリアと【多世代交流スペースくるくる】のエリアがあります。くるくるのエリアにはカフェスペースの他、レンタルできるスペースやBOXがあり、講演会や演奏会、映写会など、多世代多様な方たちが集える「場」となっています。



▲定期的に行われるイベント

## 2023年度のトピックス

- ▶ IT's summer、ココクルクリスマスの開催で多世代多様な方の交流の機会を創出
- ▶ チャリティーコンサート等さまざまな音楽コンサートを開催
- ▶ いきいきわくわく終活サロンや介護の魅力発信ミニイベント等、さまざまなイベントを開催
- ▶ 看護師や福祉専門職を目指す学生さんの実習受け入れ
- ▶ 行政書士さんの無料相談に加えて、心の相談にのっていただける「きくはな保健室」がスタート

## くるくる利用者の声

きくはな保健室 平島 みや子さん

「内省」「自分軸への転換」「自己選択・自己決定」など、わずか60分の相談支援で、相談者が本来の役割や使命に気づかれて活力を取り戻しておられました。感情豊かな暮らしを支えるための相談しやすい空間づくりに感謝申し上げます。



## 地域協働

## Be Happy プロジェクト



## 事業概要

前ページで紹介した(1)の「就労・生活支援」と(2)の「地域コミュニティ」が繋がると、新たな「コト」や「モノ」が作り出されます。障がい者の収入アップのみならず、その場に参加する地域の多世代多様な方が出会い、その場で作り出されたさまざまな「コト」や「モノ」の一つひとつを集め、共に動かすプロジェクトを【Be Happy プロジェクト】と名づけました。

(詳細は特集2～5ページをご覧ください。)

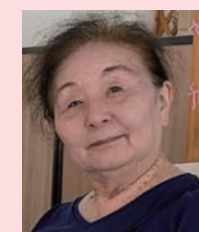
## 2023年度のトピックス

- ▶ シルクプロジェクトがスタート
- ▶ 北九州市立高校×大英産業とのコラボで「高校生レストラン」を開催
- ▶ KAMIKURUプロジェクトが「令和5年度ふくおか共助社会づくり表彰」を受賞
- ▶ 令和5年版障害者白書にわくわくが掲載される
- ▶ ピカピアノプロジェクトがNHK&朝日新聞で紹介される
- ▶ みやこ町高齢者大学・女性学級合同開校式でBamboo boonプロジェクトの講演を実施

## 協働先の声

みんなのてらこや 服部 祐充子さん

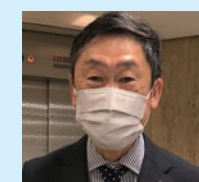
2020年に世界を襲ったコロナ禍で日本の子どもたちの学校生活が急に止められてしまったときに、「勉強はどうなるの？保護者が働いているときに子どもたちは家にいるの？お昼ご飯はどうなるの？」と思ったけれど、私たちにできることは「一緒に勉強すること！」かなと思い立っての「みんなのてらこや北九州」の立ち上げになりました。教える人は友人知人に心当たりがありましたし、場所はわくわくを提供してもらえることになり、コムシティの会議室と併せて週2回、なんとか丸4年が過ぎました。今年は受験生たちと春に「桜咲く」を目指してがんばります。



## 協働先の声

『KAMIKURUプロジェクト・再生紙使用者』株式会社井筒屋 中尾 裕さん

井筒屋では社内の古紙を分別・回収し、「きたきゅうコロンプス」売場の手提袋や小袋などにアップサイクルしてお客様へ提供しています。従業員はもとより、お客様にも身近な紙の循環システムをご理解いただくことで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。





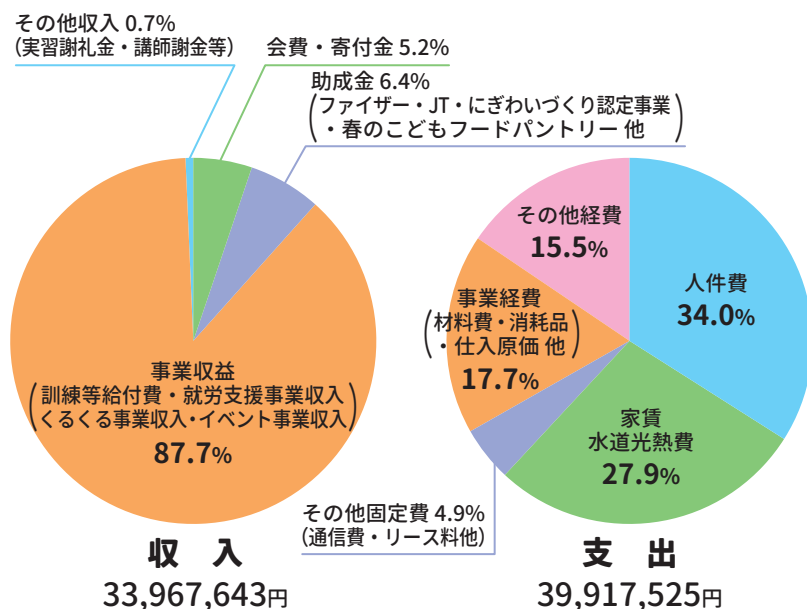
# 数字で見るわくわーく

1年を通してたくさんの方と交流しご協力とご支援を頂きました。  
ここでは、2023年度の活動概要を数字でご紹介します。

障がい福祉サービス事業所 BOCCHI	
利用者数	12名
平均工賃	15,134円/月
利用者が行う仕事の数	10種類
多世代交流スペース くるくる	
イベント開催数(主催)	5回
Be Happy プロジェクト	
プロジェクト数	9プロジェクト
協働法人・団体数	6団体以上
置き菓子設置数	26か所

法人全体	
寄付金額	1,757,547円
メディア掲載回数	4回
NHKニュースブリッジ北九州/朝日新聞/西日本新聞等	
講演回数	5回
みやこ町高齢者大学・女性学級合同開講式/ 北方シネマ『チョコレートな人々』上映とアフタートーク/ 東福岡高校「SDGs」をテーマにした探究学習	
民間助成事業(単独)	2団体
ファイザープログラム/ 春のこどもフードパントリーとこども食堂応援事業	
北九州市助成事業(協働)	3団体
SDG-Xリーディングプロジェクト/ SDGs市民活動スタートアップ支援事業/にぎわいづくり認定事業	

## 決算(簡易版)



## PICK UP!



株式会社三菱UFJ銀行 北九州支店様

## 寄付金 50万円

社員のみなさんとBOCCHIインストラクターと一緒に製作した竹チェロの寄贈と共に、サステナブルパンブーコンサート開催費用をご寄付いただきました。

当期正味財産増減額: △ 5,949,882円 前期繰越正味財産額: 20,393,724円 次期繰越正味財産額: 14,443,842円

# 2024年度の取り組み

2024年度も3つの柱を中心に、より充実した活動を続けていけるように工夫していきます。

## 1: 就労・生活支援(障がい福祉サービス事業所 BOCCHI)

BOCCHI利用者が目的を持って楽しく生き活きとした時間が過ごせるように仕事面、生活面の両サイドから丁寧にサポートしていきます。Be Happy プロジェクトのさまざまな活動の主たる役割を担いながら、多様な方々と共に自分らしく力をつけていきます。また、令和6年から11年までの「北九州市障害者支援計画」が策定されたことをふまえ、これまでの運営の振り返りを行い、体制整備にも力を入れながら活気ある事業所づくりを目指していきます。

## 2: 地域コミュニティ(多世代交流スペース くるくる)

くるくるスペースは、九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)の学生チームがKITAQ WOOD(北九州市産木材)を使用し、この場を利用する多世代多様な方々がより心地よく利用できる空間づくりがはじまります。定期利用者も増えてきている中、2024年度もくるくるスペースを多くの方が思いを実現する場として利用でき、BOCCHI利用者が充実して働くことができる場として充実させていきます。

## 3: 地域協働(Be Happy プロジェクト)

現在動いているプロジェクトに加え、新しくスタートしたシルクルプロジェクトに力を入れていきます。ボランティアや協働の申し出も増えており、共に活動する仲間が楽しく実践していくための仕組みづくりも考えていきたいと思っています。複数のプロジェクトの進捗等を管理するためのプラットフォームづくりも視野にいれ、資金、人材について考えていきます。





## わくわーくを応援するには

私たちの活動の中でも、特に【Be Happy プロジェクト】は、みなさまの寄付によって各プロジェクトを発展させていくことができます。応援方法はさまざまあります。みなさまのご支援、ご協力をお待ちしています。

### 1 わくわーくが解決に挑む課題や活動を知る

#### メールマガジンを受け取る

わくわーくのイベント情報や活動の様子等を基本的に毎月第4金曜日にお届けします。  
ぜひ右記QRコードのフォームよりご登録ください。

メルマガ



#### SNSをフォローする

facebook



Instagram



### 2 わくわーくをお金で支援する

#### 「Be Happy サポーター」になる(継続支援)

サポーターのみなさまには『年次報告書』をお送りするとともに、イベント等へご招待させていただきます。また、月1,000円以上のサポーターの方にはBOCCHIオリジナル商品も年1回お送りします。  
毎月250円からお選びいただけます。右記QRコードのサイトよりお手続きください。

凸と凹



#### 寄付をする(都度支援)

好きなタイミングで好きな金額をご寄付いただけます。  
※わくわーくでは「遺贈寄付」も受け入れています。お気軽にご相談ください。

#### <入金方法>

(1) クレジットカード・銀行振込の場合

右記QRコードのサイトより、好きな金額を選んでお手続きください。

シンカブル



(2) 郵便振替の場合(電信払込みの用紙をご利用ください)

記号:17470 番号:75228601

加入者名:NPO法人わくわーく

上記以外にも、わくわーくではイベント運営等をサポートいただける方を募集しています。ご関心のある方はお気軽にご相談ください。

#### 【企業・団体のみなさまへ】

わくわーくでは、「Be Happy パートナー」として私たちと協働する法人様を募集しています。本書の13～17ページでは、2024年度のパートナーをご紹介します。ご関心のある法人様はお気軽にご相談ください。



Be Happy  
プロジェクト

# Be Happy Partner



あなたらしさの、そばに。

## DAIEI

大英産業は、

ライフスタイルに合った良質な「すまい」を提供し、  
持続的に発展する「まち」をつくります

#### 事業内容

- ・新築分譲マンション事業
- ・新築分譲戸建事業
- ・中古住宅再生事業
- ・土地活用事業
- ・街づくり事業



大英産業株式会社

〒807-0075 北九州市八幡西区下上津役4丁目1-36  
TEL:093-613-5500







まもるひとを育て安心安全を守り続けます



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1丁目8番3号  
TEL 093(642)8231 会社HP



エプソンは「こころとからだの健康と住みよいまちづくり」に取り組む  
わくわく様を応援しています

わくわく様と共に「KAMIKURU」プロジェクトを通じて  
“地域の一人ひとりが主人公となって活動できる”  
そんなまちづくりを目指しています



エプソン販売の環境  
共創活動はこちら！



お客様の  
笑顔とともに

エプソン販売 株式会社

# LIFE IS ALWAYS GROWING

不動産業界の量と質を向上させ  
豊かに住み続けられる街づくりを行う



## CONSULTING

— 不動産事業コンサルティング —



個人、企業に関わらず不動産事業の成長を  
目指す皆様を支え、サポートさせていただきます。  
これまでの実践の中で培ってきた成功事  
例、ノウハウ、経験を基に中古市場への新  
規参入、または既存事業の促進等を目指す  
企業様のサポートをさせていただきます。

## REAL ESTATE

— 不動産関連 —



お客様の暮らしに合わせて住まいのご提案や  
ライフプランニング等のご相談を承ります。  
宅地建物取引士、競売取扱主任者、住宅  
ローンアドバイザー、ファイナンシャルプ  
ランナー等の幅広い資格をもったスタッ  
フが対応させていただきます。



Will step  
Life is always growing

〒806-0047  
福岡県北九州市八幡西区鷹の巣1丁目11-1  
沖口産業ビル201号  
営業時間 10:00~18:00 ※土日祝定休  
詳細は右記QRコードからホームページをご覧ください。



will-step.net



人と地域をつなぎ、豊かな未来を創造。



IZUTSUYA 小倉井筒屋  
www.izutsuya.co.jp



～考えようSDGs～



みんなの安全安心を みんなで環境対策を これからの繋ぐ企業に



ミヨキグループ

株式会社 三養基 三養基レックス  
北九州市若松区誕生と共に 1963年設立

代表取締役  
濱崎 勇



税理士法人 ティーエーパートナーズ



1級ピアノ調律技能士  
ピアノ調律師

加藤 正巳

☎ 090-1332-7555 ✉ tuner440@hotmail.com

## 皆の想いを名刺にのせて

KAMIKURU プロジェクトで集めた使用済み用紙は  
名刺に生まれ変わり、私たちの営業活動で活躍しています。



株式会社 ドーワテクノス

ドーワテクノスは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



株式会社ツネミ

弊社ホームページ



お助け隊事業

建材事業



QRコードをながめたい！

北九州市門司区大字恒見 1323-1 TEL 093-481-0278

持続可能な  
脱炭素社会づくりをプロデュース



株式会社 エックス都市研究所  
九州事務所 TEL:093-513-2252  
北九州市小倉北区堺町 1 丁目 2-16



代表取締役社長 伊東 純一

無添加自然商品・無農薬米  
遠赤の無添加ハウス

八幡東区中央2丁目19-15  
TEL 093-662-5637

来店で遠赤ミトンプレゼント

KDC  
北九州デジタル  
クリエイション

## 2023年度にご協力してくださった方々(敬称略)

### Be Happy Supporter

株式会社アステック入江  
いこいの里  
AIR STATION HIBIKI 株式会社  
枝光まちづくり協議会  
北九州まなびとESDステーション  
九州電力株式会社 北九州支社  
九電ネクスト株式会社 八幡営業所  
学校法人九州国際大学  
公立大学法人北九州市立大学  
北九州市立高等学校  
北九州市 産業経済局  
北九州市 公営競技局  
北九州市 保健福祉局  
北九州市立黒崎中学校  
グッドスピード・フォー・ヘア  
コーエー株式会社  
福岡教育大学附属小倉中学校  
株式会社ごとう醤油  
五條漢堂薬局  
ササキ商事有限公司  
シャボン玉石けん株式会社  
北九州市市民活動ポートセンター  
株式会社スピナ  
一般社団法人ストリートピアノドネーションズ  
セイコーエプソン株式会社(北九州オフィス)  
株式会社成和産業  
株式会社ソルネット  
株式会社大英工務店  
中央町連絡協議会・結(YUI)  
北九州市立徳力児童館  
富田大学堂薬局  
福岡県立中間高等学校  
西門司学童クラブ  
日税サービス株式会社 西日本北九州営業所

日鉄興亜不動産株式会社  
日本たばこ産業株式会社 福岡支社  
株式会社西原商事  
則松佳孝税理士事務所  
サンキュー薬局春の町調剤センター  
認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン  
松延製茶園  
一般社団法人森人未来ノ研究所  
サンキュー薬局門司調剤センター  
八幡小学校放課後児童クラブ  
八幡東田まちづくり連絡会  
やさいのかなん  
株式会社山本工作所  
八幡東区役所  
福岡県立八幡高等学校  
リンクソフトウェア株式会社  
株式会社レイメイ藤井  
鍼灸マッサージ六健堂  
特定非営利活動法人ロシナンテス  
上野包装商会  
スタジオディーピーアイ株式会社  
港の酒屋 みつばや  
株式会社ウインドファーム  
いのちの旅博物館 ミュージアムショップ  
株式会社ジェイリンク  
株式会社アイム製作所  
TAUNAGU FACTORY  
ヒルトン東京お台場  
株式会社フロンティア  
クリエイター安本  
ドックセラピージャパン  
株式会社タスク  
タクミク・ATR  
いこい空間ホビ

株式会社COMPUS・LIENEX  
NPO法人子どもアドボカシーセンター  
一般社団法人日本ベップトーク普及協会  
株式会社ハピクロ  
安川産業株式会社  
株式会社花輝  
有限会社みかど商事  
株式会社ロクリア  
株式会社北九州消防設備保守センター  
株式会社ベルサービス  
有限会社サークル・アイ  
株式会社松木工務店  
株式会社ウキシロケアセンター  
環境テクノス株式会社  
特定非営利活動法人夢つむぎ  
高次脳機能障がいを考える会  
株式会社スリーアローズ  
有限会社カネタケ  
株式会社プロデュース  
メンバーズZERO  
ATRACK株式会社  
丸山市民センター  
一般社団法人ソシオファンド北九州  
Café とむ  
有限会社オズコーポレーション  
株式会社UGツボネ  
Socio Café  
みんなのてらこや北九州  
竹凛共振



NPO法人わくわくの一の活動に共感・賛同してくださった法人様と覚書を交わし、その法人の商品やサービス等の売上の一部を寄付する「寄付つきプロジェクト」にもご参加いただいている法人様を『Be Happy スペシャルパートナー』としています。法人の方は本業を通して、また地域の方はその法人様の商品購入やサービス利用等を通して、地域の社会課題解決に参加することができます。



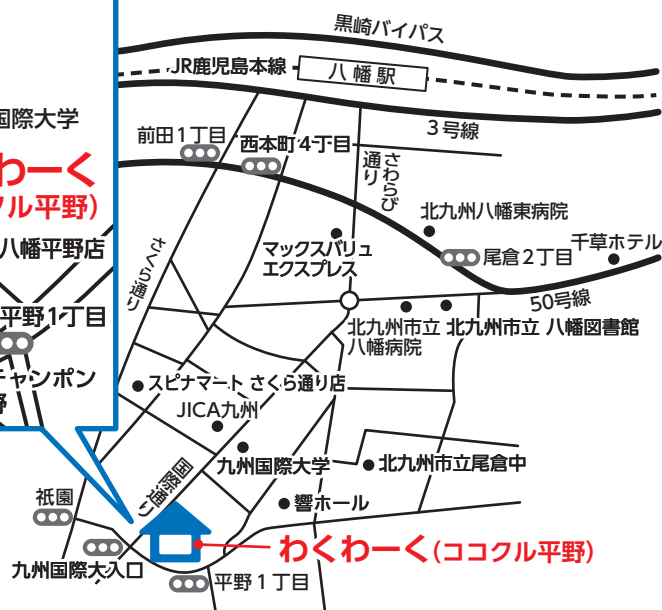
NPO法人わくわく  
2023年度年次報告書

発行日：2024年8月1日  
発行人：小橋 祐子（NPO法人わくわく 理事長）  
編集協力：合同会社めぐる  
デザイン：鮎川 大智  
印刷：キンコース 小倉平和通店  
スペシャルサンクス：Be Happy サポーター  
Be Happy パートナーのみなさま

kinko's®

この年次報告書は、サポートしてくださっている印刷会社さまのご協力により、ご寄付の一環として無償で印刷していただきました。





## NPO法人 わくわーく

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目3番2号

**TEL 093-671-1221**

✉ wakuwakuinfo@wakuwa-ku.com

わくわーく

検索

<https://www.wakuwa-ku.com/>



北九州市内で回収した古紙を **KAMIKURU** で再生した紙を使っています

